

腹腔鏡下手術をうけられるID: 様へ

経過	入院日	手術当日	術後 1 日目	術後 2 日目	術後 3 日目	術後 4 日目	退院後の診察	
月日	/	/	/	/	/	/	月 日	
達成目標	☐ 手術の必要性・処置の必要性が理解できる	☐ ベッド上で体の向きを積極的に変えることができる ☐ 痛みを表現できる	☐ 歩行することができ、自分で排尿ができる	☐ 身の回りのことが自分で出来る	☐ 退院指導が理解でき、退院後の生活の不安が軽減する	【退院基準】 ☐ 創部の異常がない ☐ 採血結果が問題ない	☐ 療養生活が継続できる ☐ 出血や腹痛がない ☐ 発熱がない	
治療 処置 検査	☐ 検温 ☐ 採血	☐ 検温（朝・手術前・手術後・適宜） ☐ 内診	☐ 検温 ☐ 採血 ☐ 傷のテープの交換をします	☐ 検温	☐ 検温 ☐ 採血 ☐ 内診（退院診察）	☐ 検温	退院後の療養生活上の留意点 ・退院後二週間くらいは外出を避け、疲労を感じたら休みま しょう。 ・退院後の初回受診を終えるまではシャワーにしてください。 ・手術を受けたことで、排尿や 排便に関係する神経が傷つき弱くなっている可能性があります。そのため、便秘や下痢、膀胱炎の予防に心がけま しょう。 ・性生活は退院後の初回受診までは控えていた だき、経過が順調であれば診察後は手術前と変 わりなく行なうことができます。 ・出血、腹痛、むくみ、風邪症状がない38度以 上の発熱があるときには早めに受診し、医師の 診察を受けてください。 ☐退院は午前中です * 病状により退院日は変更す ることがあります	
薬剤 点滴	☐ 持参薬の確認をします ☐ 夕食後と眠前に下剤を服用します	☐ 点滴が3本あります	☐ 点滴が2本あります	☐ 点滴が2本あります → 終了後に 点滴を抜きます				
食 事	☐ お昼から食事ができます ☐ 午後10時以降絶食です （飲水はできます）	☐ 飲水可能時間は手術室入室時間で異なります 8:45～12:59 → 6時まで飲水可 13:00～16:00 → 10時まで飲水可 16:00～ → 13時まで飲水可 ☐ 手術後の水分は腸の動きを確認してから始めます ☐ うがいはできます	☐ 朝から軟菜食 (手術時間によっては昼からになります)	☐ 普通食が出ます				
安静度	☐ 医師より指示がなければ院内自由です	☐ 手術後はベッド上安静です ☐ 血液循環をよくするために 麻酔が覚めたらスタッフと共に 体の向きを変えたりしましょう	☐ トイレ歩行開始です 順調なら病棟内歩行できます 最初はスタッフと一緒に 動きましょう	☐ 院内自由です 体の調子に合わせて、少しずつ歩く距離を 伸ばして行きましよう				
清 潔	☐ 臍処置をします ☐ 臍処置後、シャワーに入ります	☐ 手術後、 適宜うがいをします ☐ 眠前、 寝たまま洗面・歯磨きをします	☐ 朝はベッド上で洗面・歯磨きをします ☐ タオルで体を拭きます ☐ 尿の管を抜いた後、トイレのウォ シュレットを使用して外陰部を洗浄し ます	☐ 傷の確認後、医師の許可でシャワーに入ります				
排 泄		☐ 手術室から尿の管が入っているのでトイレに行く必要はありません	☐ ベッドから動けるようになれば、尿の管を抜いてトイレに行けます					
患者様及び ご家族への説明	☐ 主治医より手術・治療について、麻酔科より麻酔 について、説明があります ☐ 入院期間について説明します ☐ 手術室の看護師の訪問があります ☐ お名前確認のためネームバンドをつけます ☐ 弾性ストッキングのサイズを測ります ☐ 手術前までの経口補水液（水・お茶・OS-1）の説 明をします ☐ 手術後に使用する物品を確認します 以下の物をご用意ください ・ テープ式の紙おむつ1～2枚 ・ 大きめのナプキン数個 ☐ 手術の際、ジェルネイル（マニキュア）や装飾 品（ピアス・ネックレス・ミサンガ・等）は全て外 す必要があります		☐ ご家族の方は手術予定時刻の1時間前に来院してい いただきます ☐ 手術前に弾性ストッキングをはいていただきます ☐ 手術中、必ず一人は手術室の待合室でお待ちくださ い（院内のPHSをお持ちいただきます） ☐ 手術後は適宜訪室し、手術後の経過を観察します ☐ 痛みの強いときはお知らせください ☐ 手術後、医師がご家族へ手術経過の説明をします			☐ 退院後の生活について説明 をします		

注）この予定表は現時点で考えられるものであり、検査、治療、内容や入院期間等は病状にあわせてその都度変更する場合がありますのでご了承下さい。

大阪南医療センター クリニカルバス委員会 2023/10/27承認

医師からの手術説明日時は 月 日() : 予定です

主治医: